

2018年9月13日

2018年12月1日改訂

2018年12月27日改訂

世界初^{※1}、8K映像表示^{※2}に対応したホームシアター用プロジェクター新ラインアップ **D-ILA®**

D-ILA プロジェクター3モデルを発売

- 「8K/e-shift テクノロジー」を搭載し、8K映像表示^{※2}対応の「DLA-V9R」
- ネイティブ4Kモデルの「DLA-V7」「DLA-V5」



株式会社 JVC ケンウッドは、JVC ブランドより、ホームプロジェクターの新商品として 8K 映像表示^{※2}に対応した D-ILA プロジェクター「DLA-V9R」と4K 対応 D-ILA プロジェクター「DLA-V7」「DLA-V5」の計3モデルを10月下旬より発売します。

「DLA-V9R」は、当社独自の「8K/e-shift テクノロジー」の搭載により、家庭用のプロジェクターとして世界初^{※1}の8K 高精細映像表示^{※2}（8192 x 4320 画素）を実現。大画面でも、より緻密で臨場感あふれる映像を再現します。また、「DLA-V7」「DLA-V5」は、ネイティブ4Kモデルとして、精細感ある4K映像を再現します。

※1：2018年10月下旬発売予定。8K映像の表示が可能な家庭用プロジェクターとして。（2018年9月13日現在）

※2：8K信号の入力には対応していません。

| 品名 | 型名 | 本体カラー | 希望小売価格（税抜き） | 発売時期 |
|------------------|---------|---------------|-------------|--------|
| D-ILA プロジェクター | DLA-V9R | B：ブラック | ¥2,000,000 | 10月下旬* |
| | DLA-V7 | | ¥1,000,000 | |
| | DLA-V5 | B：ブラック/W：ホワイト | ¥750,000 | |

*当初発売が延期となりました（2018年12月1日付）。詳細はこちら（https://www3.jvckenwood.com/projector/pj_info_20181201.html）をご覧ください。

*2019年1月下旬より順次発売できる見込みとなりました（2018年12月27日付）。詳細はこちら（https://www3.jvckenwood.com/projector/pj_info_20181227.html）をご覧ください。



< 企画意図 >

UHDブルーレイや配信サービスなど普及が進む4Kコンテンツ視聴の需要に向け、当社は、2016年に独自の0.69型ネイティブ4K「D-ILA」デバイスを搭載した、ホームシアター用プロジェクターのフラッグシップモデル「DLA-Z1」を発売し、高精細かつ艶やかな映像表現で高い評価を得ました。このたび発売する3モデルは、今後ますます増加することが予想される高精細映像ニーズに応え、ネイティブ4Kモデルのラインアップを強化するとともに、8K映像^{※2}の表示を可能にした家庭用プロジェクターを世界で初めて^{※1}商品化しました。

シリーズ上位モデルの「DLA-V9R」は、当社独自の「8K/e-shiftテクノロジー」により4K/2K映像を高解像度化することで、8K映像表示^{※2}を実現。4Kを超える高精細映像に加え、高輝度、高コントラスト、広色域も兼ね備え、これまでにない臨場感を提供します。4K対応モデル「DLA-V7」は、4K解像度に加え、高いコントラストと優れた色再現性を生かし、映画を中心としたコンテンツの視聴において、こだわりの映像表現を求めるユーザーを対象とした高画質モデル。また、「DLA-V5」は、上位モデルの設計思想を取り入れ、4K/HDR等の最新コンテンツの視聴にも対応。ブラック/ホワイト2色展開により、リビングシアターなどでもより手軽に楽しめるモデルです。

当社は、4Kから8K^{※2}まで、ホームシアター用プロジェクターの豊富なラインアップを揃えることで、さまざまなユーザーニーズや使用シーンに応えます。

<「DLA-V9R」固有の主な特長>

1. 「8K/e-shift テクノロジー」を搭載し、8K（8192 x 4320 画素）解像度表示を実現

1 画素を斜めに 0.5 画素シフトすることで解像度を倍増化する高解像度表示技術「e-shiftテクノロジー」と、0.69 型ネイティブ 4K「D-ILA」デバイスの組み合わせによる当社独自の「8K/e-shift テクノロジー」を搭載。独自の画質技術「Multiple Pixel Control」により、フル HD や 4K 映像を高精細な 8K（8192 x 4320 画素）映像に変換し、より実際の被写体に近い、緻密で臨場感あふれる映像を再現します。

8K
e-shift

2. 大口径 100mm の 16 群 18 枚オールガラス・オールアルミ鏡筒レンズを搭載

16群18枚オールガラス・オールアルミ鏡筒レンズを搭載。また、上下 100%、左右43%という広いシフト範囲を確保しながら画面の隅々まで高解像度を映しきるために、100mmの大口径で、R/G/Bの屈折率の違いを加味した5枚の特殊低分散レンズを採用することにより、シフト時の色収差・じみなどを抑え、8K解像度を忠実に再現することが可能です。



<オールガラス・オールアルミ鏡筒レンズイメージ>

<「DLA-V7」「DLA-V5」共通の主な特長>

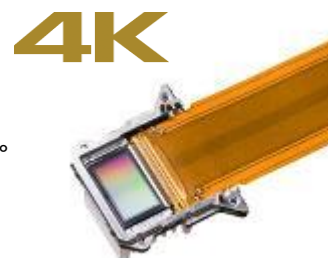
・15 群 17 枚のオールガラスレンズを採用した口径 65mm のレンズを搭載

15 群 17 枚のオールガラスレンズを採用した口径 65mm のレンズを搭載。画面周辺部にいたるまでフォーカスの合った 4K 高解像度映像を実現します。

<3 モデル共通の主な特長>

1. 性能向上を実現した新 0.69 型ネイティブ 4K「D-ILA」デバイスを搭載

「DLA-Z1」（2016 年 12 月発売）に採用した 0.69 型ネイティブ 4K「D-ILA」デバイスを平坦化、反射効率アップなどのプロセス改善を行い、性能の向上を実現。さらなる高コントラスト、高輝度化を実現しました。「D-ILA」独自の狭ピッチ画素プロセスにより大画面でも格子が見えにくい、4K ネイティブならではの滑らか、かつ高精細な映像表現を可能にしました。



<新 0.69 型ネイティブ 4K「D-ILA」デバイス>

2. 新開発のネイティブ 4K「D-ILA」デバイス用デジタルドライバーLSI を搭載

R/G/Bごとに、3枚のネイティブ4K「D-ILA」デバイスを、同時に120fpsで高速駆動させるため、新たに専用ドライバーLSIを開発。膨大な情報量を瞬時に処理するために、最新テクノロジーの広帯域メモリであるHBM（High Bandwidth Memory）を採用し、シリコンインターポーザーにて接続することで、超高速駆動を可能としました。また、独自のフレームレートコンバーターや各種デバイス補正機能も本LSIに搭載することで、常に安定した高画質の映像表現を実現します。

3. 超高圧水銀ランプと高効率化した光学エンジンの組み合わせにより2,200lm^{*3}の高輝度を実現

265W の超高圧水銀ランプと高効率化した光学エンジンの組み合わせにより 2,200lm^{*3} の高輝度を実現。さらに、画素間ギャップが狭く光の利用効率が高い「D-ILA」デバイスとの組み合わせにより、緻密で滑らか、かつパワフルな映像表現を可能にします。

※3：「DLA-V9R」において。「DLA-V7」は 1,900lm、「DLA-V5」は 1,800lm。

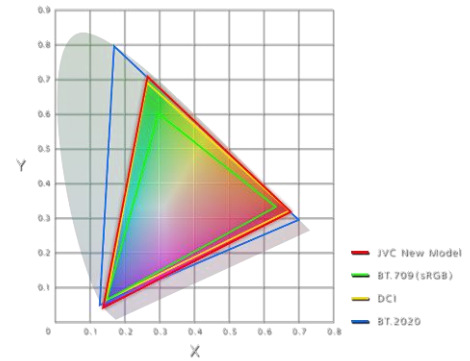
4. ネイティブコントラスト 100,000:1、ダイナミックコントラスト 1,000,000:1^{*4}によるリアルな黒を再現

0.69 型 4K「D-ILA」デバイスとワイヤグリッド採用の光学エンジンにより、ネイティブコントラスト 100,000:1 を実現。また、入力映像を解析し、黒レベルを自動制御する「インテリジェント・レンズ・アパーチャー」との組み合わせで、ダイナミックコントラスト 1,000,000:1 を可能^{*4}にしました。高輝度化によるダイナミックレンジとの相乗効果でリアリティあふれる高画質映像が体感できます。

※4：「DLA-V9R」において。「DLA-V7」はネイティブコントラスト 80,000:1 ダイナミックコントラスト 800,000:1、「DLA-V5」はネイティブコントラスト 40,000:1 ダイナミックコントラスト 400,000:1 になります。

5. 新シネマフィルターの採用により、DCI-P3の広色域による色鮮やかな映像を実現（「DLA-V9R」「DLA-V7」）

新シネマフィルターの採用によりBT.709はもちろん、DCI-P3の広色域を実現します。UHDブルーレイに代表されるHDRコンテンツでは、従来よりも大幅に広い色域が採用されています。そうしたコンテンツも、広色域な本機なら、これまで再現の難しかった空や海のグラデーション、真紅の薔薇や新緑の並木の対比などまで、色彩豊かに描き分けることが可能です。



<広色域イメージ>

6. 豊富な映像情報を持つHDR (High Dynamic Range)コンテンツに対応

HDRコンテンツの持つ、輝度レンジの拡張や、BT2020といった広色域、10bit 階調等の豊富な映像情報に対応。UHDブルーレイに採用されているHDR10方式に加え、放送などで採用されるHLG(ハイブリッドログガンマ)方式のコンテンツも忠実に再現します。



7. HDR10コンテンツを最適な画質に自動調整^{※5}する独自の「オートトーンマッピング」機能を新搭載

HDR10コンテンツの明るさ情報を示すマスタリング情報（Max CLL/FALL^{※6}）に基づき、自動的^{※5}に画質調整を行う「オートトーンマッピング」機能を新たに搭載。コンテンツごとに明るさの異なるHDR映像が最適に視聴できるよう、画質を自動的^{※5}に調整します。



<「オートトーンマッピング」機能イメージ>

※5:マスタリング情報が含まれないコンテンツの場合には、固定値もしくはマニュアルでの調整となります。

※6:MaxCLL (Maximum Content Light Level コンテンツの明るさの最大値) MaxFALL (Maximum Frame Average Light Level フレーム毎の平均最大輝度)。

8. 当社独自の残像低減技術「Clear Motion Drive」の精度を向上

当社独自の残像低減技術「Clear Motion Drive」は、補間アルゴリズムの見直しにより、オブジェクト境界における動き補償精度を大幅に向上。従来よりも多くのフレームを参照することで動き予測の精度を向上させるとともに、フレーム遅延の短縮を実現しました。加えて、“弱”設定ではフィルム等で採用されている24コマ/秒の味わいを残したデジャダー感を追求し、より違和感のない処理を実現しています。また、映像の動きに応じて「D-ILA」デバイスの駆動を最適化する「Motion Enhance」との組み合わせにより、4K映像をより滑らかに再現します。

< その他の共通の主な特長 >

- ・ 4K/60p 4:4:4 や、4K/60p 4:2:2/36bit、4K/24p 4:4:4/36bit など、18Gbps の伝送帯域の入力に対応し、色鮮やかな色調表現とより豊かな階調表現を実現します。
- ・ レンズメモリーや画素調整、画面マスクなどの設置調整内容を一括して最大 10 種類保存し、簡単に呼び出すことができる「設置設定」機能を搭載。
- ・ 設置条件や使用状況などで変化する光学特性を最適化する「オートキャリブレーション機能」^{※7}を搭載。
※7:「オートキャリブレーション機能」を使用するには、市販の光学センサーと専用ソフトウェア、PC、LAN ケーブルが必要です。
- ・ スクリーン特性によって生じる色のアンバランスを補正する「スクリーン補正モード」を搭載。
- ・ PC 信号やゲームなどの表示遅延を低減する「低遅延」モードを搭載。
- ・ 壁に近づけての設置など、さまざまな設置環境に対応する背面吸気・前面排気を採用。
- ・ 高品位・高品質の証である「THX 4K DISPLAY」認証を取得予定。（申請中、「DLA-V9R」のみ）

< 主な仕様 >

| | | | | |
|---------------------|------------|---|------------------------------------|--------------|
| 型名 | | 「DLA-V9R」 | 「DLA-V7」 | 「DLA-V5」 |
| 本体色 | | ブラック | ブラック | ブラック ホワイト |
| 表示デバイス | | 0.69型 4K「D-ILA」デバイス (4,096×2,160) ×3 | | |
| 8K/e-shift テクノロジー | | ○ | - | |
| 表示解像度 | | 8,192×4,320 | 4,096×2,160 | |
| レンズ | | 2倍電動ズーム・フォーカス オールガラスレンズ 口径 100mm | 2倍電動ズーム・フォーカス オールガラスレンズ 口径 65mm | |
| レンズシフト | | 上下 100%、 左右 43% (電動) | 上下 80%、 左右 34% (電動) | |
| 投写サイズ | | 60型 ~ 300型 | 60型 ~ 200型 | |
| 光源 | | NSH 265W | | |
| 明るさ | | 2,200lm | 1,900lm | 1800lm |
| コントラスト比 | ダイナミック | 1,000,000:1 | 800,000 : 1 | 400,000:1 |
| | ネイティブ | 100,000:1 | 80,000 : 1 | 40,000:1 |
| 色域 DCI P3 | | ○ | | - |
| 入力端子 | HDMI | 2 (3D/Deep Color/HDCP2.2 対応) | | |
| 出力端子 | トリガー | 1 (ミニジャック、DC12V/100mA) | | |
| | 3Dシンク口 | 1 (Mini-Din 3pin) | | |
| 制御端子 | RS-232C | 1 (Dsub-9pin) | | |
| | LAN | 1 (RJ45) | | |
| サービス端子 | Service | 1 (USB TypeA)*ファームアップ用 | | |
| ビデオフォーマット | デジタル | 480p、576p、720p 60/50、1080i 60/50、1080p 60/50/24、 3840×2160p 60/50/30/25/24、4096×2160p 60/50/30/25/24 | | |
| PC入力信号 | デジタル(HDMI) | VGA/SVGA/XGA/WXGA/WXGA+/SXGA/WSXGA+ | | |
| 3Dフォーマット | フレームパッキング | 720p 60/50、1080p 24 | | |
| | サイドバイサイド | 720p 60/50、1080p 60/50/24、1080i 60/50 | | |
| | トップ&ボトム | 720p 60/50、1080p 24 | | |
| 消費電力 | | 400W (通常待機時 : 1.5W エコモード待機時 : 0.3W) | | |
| ファンノイズ | | 24dB (ランプモード 低モード時) | | |
| 電源 | | AC 100V、50/60Hz | | |
| 外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き) | | 500mm × 234mm × 518mm(フット含む) | 500mm × 234mm × 495mm (フット含む) | |
| 質量 | | 21.8kg | 19.8kg | 19.6kg |

< オプション品 >

| 品名 | 型名 | 希望小売価格 (税抜き) |
|------------------------------|------------|--------------|
| 3Dメガネ(RF方式) | PK-AG3 | ¥15,000 |
| 3Dシンク口エミッター(RF方式、「PK-AG3」専用) | PK-EM2 | ¥10,000 |
| 交換ランプ | PK-L2618UW | ¥47,000 |

<商標について>

- ・「D-ILA」「e-shift」「HDR/High Dynamic Range (ロゴ)」は株式会社 JVC ケンウッドの商標または登録商標です。
- ・THX 及び THX ロゴは、いくつかの法域で登録可能な THX 社の登録商標です。
- ・HDMI (High-Definition Multimedia Interface)と HDMI ロゴは、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- ・その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。



<DLA-V9R>



<DLA-V7/V5 (ブラック) >



<DLA-V5 (ホワイト) >

本件に関するお問い合わせ先

【報道関係窓口】 株式会社 JVC ケンウッド 企業コミュニケーション部 広報・IR グループ

TEL : 045-444-5310 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目 12 番地

【お客様窓口】 JVC ケンウッド カスタマーサポートセンター

TEL : 0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル) /

0570-010-114 (携帯・PHS からはナビダイヤル) / 045-450-8950 (一部 IP 電話)

本資料の内容は報道発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

www.jvckenwood.com